

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 103-0024  
 住 所 東京都中央区日本橋小舟町4番1号伊場仙ビル  
 氏 名 日本乳化剤株式会社  
 代表取締役社長 田中 雅一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本乳化剤株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町1番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	界面活性剤並びに化成品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	8,794	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	環境安全部川崎環境安全課
		所在地	川崎市川崎区千鳥町1番1号
		電話番号	044-266-8927
		FAX番号	044-266-8912
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 23,619 t-CO <sub>2</sub> (調) 21,712 t-CO <sub>2</sub>	(実) 22,753 t-CO <sub>2</sub> (調) 20,701 t-CO <sub>2</sub>	(実) 18,745 t-CO <sub>2</sub> (調) 16,928 t-CO <sub>2</sub>	(実) 19,206 t-CO <sub>2</sub> (調) 16,978 t-CO <sub>2</sub>	(実) 22,967 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 3.7 % (調) 4.7 %	(実) 20.6 % (調) 22.0 %	(実) 18.7 % (調) 21.8 %	(実) 2.8 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産数量		単位	t-CO <sub>2</sub> /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.3355	0.3544	0.3507	0.3368	0.3263
削減率		-5.6 %	-4.5 %	-0.4 %	2.8 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	新規建屋（R&Dセンター）建設等、生産に寄与しない施設の増設に係るCO <sub>2</sub> 排出量が増加した。また、収益面で折り合わない品目を整理した結果、工場の生産数量が減少した。それに伴い、生産に対する設備の洗浄回数が増加し、CO <sub>2</sub> 原単位をさらに悪化させる結果となった。
第2年度	自社蒸気ボイラー及び熱媒ボイラーの一部運転停止、焼却炉の運転改善により、都市ガス使用量を削減した。また、焼却炉の運転改善及び事務厚生棟の照明をLEDに更新し、電気使用量を削減した。しかし、第1年度と同様に収益面で折り合わない品目を整理した結果、工場の生産量がさらに減少したため、基準年度よりもCO <sub>2</sub> 原単位が4.5%悪化した。
第3年度	熱媒ボイラーの一部運転停止、焼却炉の運転改善、CGS（ガスコージェネレーション設備）の導入、事務厚生棟の空調機の更新、蒸気トラップの改善、製造工程の改善により、温室効果ガスの排出量は目標達成となった。しかし、収益面で折り合わない品目を整理した結果、エネルギー使用量が多い製品構成となったため、基準年度よりも原単位が0.4%増加した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧変電器3台を順次高効率アモルファス変圧器へ更新</li> <li>・ 蒸気配管及びバルブ等の断熱の強化</li> <li>・ 水銀灯の照明をLED等へ更新</li> <li>・ 夏場の節電対策の見直しによる効率化</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気配管及びバルブ等の断熱の強化</li> <li>・ ドライルーム空調機の運転管理見直し</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧変電器3台を高効率アモルファス変圧器へ更新</li> <li>・ 蒸気配管及びバルブ等の断熱の強化</li> <li>・ 事務厚生棟の照明をLEDへ更新</li> <li>・ 自社蒸気ボイラー及び熱媒ボイラーの一部運転停止、焼却炉の運転改善</li> </ul>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱媒ボイラーの一部運転停止、焼却炉の運転改善</li> <li>・ CGS (ガスコージェネレーション設備) の導入</li> <li>・ 蒸気配管及びバルブ等の断熱の強化、蒸気トラップの改善</li> <li>・ 事務厚生棟の空調機更新</li> <li>・ 製造工程の改善</li> </ul>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物の減量化・分別化の推進</li> <li>・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請及びモーダルシフトを継続して推進</li> <li>・ 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業廃棄物の廃油の分別化の実施</li> <li>・ 産業廃棄物の廃アルカリ外部委託量の削減（前年度比96%削減）</li> <li>・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請（要請件数8件）</li> <li>・ 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業廃棄物の廃油の分別化の実施</li> <li>・ 産業廃棄物（廃アルカリ、廃油等）外部委託量の削減（基準年度比62%削減）</li> <li>・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請（要請件数8件）</li> <li>・ 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進</li> </ul>
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業廃棄物の廃油の分別化の実施</li> <li>・ 産業廃棄物（廃アルカリ、廃油等）外部委託量の削減（基準年度比75%削減）</li> <li>・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請（要請件数8件）</li> <li>・ 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進</li> </ul>

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	19,631	t-CO <sub>2</sub>
(調)	17,320	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

## (2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本乳化剤株式会社川崎工場	川崎市川崎区千鳥町1番1号	1632	界面活性剤並びに化成品の製造	19,631 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

## (3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--